うしく里山の会 広報誌
# さとやま
Ｎｏ．４１（２００６年７月号）

NPO法人 うしく里山の会
事務局　〒300-1236　牛久市田宮町808-20
TEL 029-801-2500（代表　坂 弘毅）
E-mail u_satoyama@infoseek.jp
HP http://u-satoyama.web.infoseek.co.jp/

## 出前講座第一号　「牛久小学校自然観察会」

６月８日、牛久小学校６年生男女１０名の自然観察会が城中地区で行われました。里山の会の出前講座としては第一回の記念すべきスタートとなりました。

アヤメ園に集合した生徒１０名は石神園長と坂が分担し、城中地区の自然と歴史を解説しました。城中地区の環境が比較的良好に保存されていることで、美しい谷津田も見られ、そこには珍しい昆虫や植物を数多く見つけることが出来ました。

また、海で取れる貝が散乱する城中貝塚が何故牛久にあるのかという疑問に応えるため、１万年前はこの辺が海で古鬼怒湾という入り江であったこと等を説明し貝塚まで足を伸ばしました。畑の中に散乱する貝と縄文土器の破片に生徒達は目を丸くしていました。

教室で習うことを補完する校外実習としては大変意義のある出前講座ではなかったかと思います。出前講座はこの後も立て続けに申し込みが来ており嬉しい悲鳴です。

（坂　弘毅記）

# 「巨木・古木・希少木リサーチ事業」の概要

うしく里山の会と牛久市の協働事業として、平成 18 年 4 月から「巨木・古木・希少木リサーチ事業」がスタートしました。10 名におよぶ「広報うしく」の応募者を含め、30 名を上回る参加者により、計測・写真撮影・歴史伝言の調査活動が始まりました。

**背景と目標**

巨木は郷土の自然遺産であるとともに、文化遺産でもあります。牛久市では巨木を「市民の木」に指定し、その意義について市民の理解促進を図っています。ここでは「市民の木」をはじめ、古木や希少木等の現状を調べ、得られた情報を写真展や報告会等を通して市民に提供するとともに、最終的には冊子の作成を目標にしています。併せて参加者の知見と健康の増進を期待しています。

**巨木・古木・希少木**

ここでの「巨木」は高さ 1.3m の幹周が 3m 以上の木（環境庁の昭和 63 年全国的調査基準)、「古木」は年数を経ても幹周が 3m には達しない木、「希少木」は絶滅を免れて生き残っている木や外から持ち込まれた希少と考えられ木、をそれぞれ指しています。

**調査の計画と内容**

計画は 3 年。初年目は「市民の木」、2 年目は社寺仏閣境内の木、3 年目は個人所有の木と牛久沼東斜面林等の半自然的樹叢を調べる予定です。個人所有の木や希少木は地域の住民からの情報提供と協力を得ることが必須です。調査は木の、①所在地と種類、②高さ・幹周・枝の広がり、③周辺の植生等、④伝言・歴史、⑤所在地マップ作成、が主な内容です。

**調査の進め方**

グループ分け

①計測班、②写真班、③歴史班を設け、さらに**計測班**は樹高 G、幹周 G、樹冠 G の３グループ、**写真班**は写真 G、地図 G の２グループ、歴史班は１グループ、にそれぞれ分かれて作業を進めることにしています。所属グループは参加者の希望を基に決め、班やグループをまたがる活動にも、希望者には可能な限り参加していただいております。

全体の推進態勢

代表・副代表（兼総務）を置き、主な事項の協議の場として、班・G 世話役による関係者打合わせ会を設けました。

メーリングリストの活用

活動上の連絡、参加者相互の意見交換、情報提供、活動成果の公表等に積極的に活用することにしています。

調査時期

今年度の場合 4 月～11 月は月２回、12 月は 1 回、原則として半日の日程。冬期間は写真展、報告会、次年度調査打合せ等を予定しています。

木の幹周測定の実技風景　06.4.16　（増田）

計測班参加者　「市民の木」No.1 の前　06.6.4

## 牛久市の支援

所管課の建設部緑化推進課により、「市民の木」所有者に対する協力依頼を行っていただくとともに適宜、調査時の立会をしていただき、作業の円滑な進行に役立っています。また月１回担当者との連絡会をもち、事業の進捗状況報告や推進に係る予算等所要事項の要請をしています。

（平成 18 年 6 月 10 日　「巨木・古木・希少木リサーチ事業」代表　渡辺泰）

## 今月の巨木「八幡神社のケヤキ」

毎月「巨木・古木・希少木リサーチ」の対象になった地域の銘木をお伝えします。

樹高　　２４ｍ
幹周　　４．０２ｍ
樹齢　　推定４００年
所在地　　東猫穴町４４６－１
　　八幡神社内

関東地方に多い落葉高木で、枝がほうき状に立つのが特徴です。幹のはだは灰褐色で老木になると、うすい小片になってはげ落ちます。春には、葉のもとに小さな花が集まって咲き、秋から初冬に小さな果実になります。

八幡神社は、江戸時代の元和年間にこの地に遷宮され、寛永頃から旧暦８月１５日の例祭に奉納相撲を催しています。

（「市民の木」案内板より）

## アヤメ受託事業からのお知らせ

牛久アヤメ園では６月１日からアヤメ祭りが始まりました。昨年４月、市から里山の会に委託されたアヤメ園は丁度１年を経過しました。一昨年のどうにもならないアヤメ園を素人集団で何が出来るのかという不安も多々ありましたが、参加メンバーの献身的努力の結果、見事往時の姿に再生しつつあります。

圃場に植えられているのは、アヤメではなくハナショウブですが､昨年補植した２０００株は更に大きくなり、初体験であった古い株の株分けも見事に根が活着し再生しました｡そして今年は２５０９株の新たな株を導入し、合計９０００株のアヤメ園は来園者の目を楽しませています。

ハナショウブは 3 年間人が代わってはだめと言われています。熱意を持って面倒を見れば、それに応えてくれるのがハナショウブであることをこの一年で勉強させていただきました。二年目に入った今年から、「牛久・里の植物園」もオープンし、地域の小学生や来園者の目を楽しませています。（坂　弘毅記）

## 森林総合研究所・森の展示ルーム（受託事業）のお知らせ

毎年恒例となりました、森林総合研究所から研究所内にある「森の展示ルーム」の解説員につきまして正式に要請をいただきました。
急遽理事会に諮り、承認されましたので会報上でお知らせと参加者の募集を行います。森の展示ルームは森林総合研究所の研究の一端を分かり易く解説し、広く一般に理解を深めてもらうための施設です。内部は小さな博物館のようで、ツキノワグマやシカの生態の研究（剥製等）、昆虫の研究、キノコの研究、ほ乳類の触れる毛皮、土壌の研究、種子の研究等々、パネルや見本等で分かり易く解説されています。この施設を夏休み期間中開館し、小中学生を中心に夏休みの研究に利用してもらうことが目的です。特に「つくばちびっ子博士」というつくば市教育委員会主催のイベントで来館する生徒が中心となります。この展示ルームの説明員を受託することになりました。（今年で３年目になります）

日　　時　７月２５日～８月３１日の間の火、木、金、土、日（月、水は休館）
　　１０：００～１６：００（実質５時間）
レクチャー　７月中旬に一日実施（参加者は必須）
実際の担当　一日一人で来館者に対応する。難しい質問は連絡先を聞き後で回答。
　　開館の準備（解錠、照明、看板の設置、パソコンの立ち上げ、館内の清掃）
謝　　金　交通費および謝金あり（日給 4000 円程度）
条　　件　昆虫、植物、鳥、その他自然に興味があり自然観察会等の経験がある」
　　「パソコンの取り扱いができる」以上の条件を満たす方を優先する。また
　　うしく里山の会会員を優先する。応募多数の場合は抽選。
申込先　　担当　坂（電話 029-873-7903　携帯 080-1050-5666　Mail　kyu-saka@yc4.so-net.ne.jp）

## 小野川探検隊連絡会議からのお知らせ

「小野川探検隊連絡会議」？初耳の方もおられるかも知れませんが、昨年からスタートした会議で、茨城県主宰の会議体です。それは霞ヶ浦に流れ込む河川をこども達の手によって水質浄化を進めようというものです。桜川探検隊、巴川探検隊などがすでに活動を行っています。牛久地区は小野川探検隊に属し、昨年から活動を始めました。昨年 11 月には観察の森の自然観察と小野川の魚捕り体験、それに水質チェックも行われこども達の環境教育に役立っています。うしく里山の会は会として小野川探検隊連絡会議に参加しており、春日会長以下副会長が 3 名おり坂が副会長の一人としてその任を負っております。今年度の第一回体験学習は 7 月 22 日豊年橋付近で魚捕り体験と観察の森で夏の自然観察が行われます。特に森の体験学習は、昆虫や野鳥、更には木の葉や木の実の香りや味を体験しようという試みです。当日は森の主催行事で一杯のため指導するスタッフが不足しております。会員の皆さんの中から、上記趣旨にご理解のある方、昆虫、野鳥、植物などをこども達に指導してみたい方、スタッフを募集します。近日中に市役所を経由して各学校に参加者募集の通知が入るかと思いますが、皆様のお子さん、お孫さん、近所のお知り合いで自然に興味があるお子さんがおられましたら参加のご紹介をお願いします。

日　　時：７月２２日（土）　９：３０～１２：００（観察の森内での観察会）
　　※午後から小野川豊年橋での魚捕り体験は自由参加とします。
参 加 者：小野川流域の市町村から小学生を募集（定員５０名程度）
参加条件：上記主旨のように、こども達への自然観察の指導が出来る方。
募集人員：５名
当日の扱い：ボランティアです。
申 込 先：　担当　坂（電話 029-873-7903　携帯 080-1050-5666　Mail　kyu-saka@yc4.so-net.ne.jp）

## プロジェクトからのおたより

# 里山観察隊だより

里山観察隊の今月の予定は観察の森の裏の植防裏の雑木林でしたがヤブの為観察の森の観察会になりました。実はこのプロジェクトが出来て初めての観察森観察会です。改めて良く手入れの入った里山の見本の所、渡辺さんの解説で（里山は実は在来植物の宝庫）なのだと…。それは人の手が入る事により環境が安定するからだそうです。又そうした場所は絶滅危惧種も多く生えています。今回はそんな難しい植物よりも,陽地［撹乱地、草刈地］里山［落葉林、常緑林］水辺［湿地、水辺］などに分けて今そこに開花している植物を観察しました。人が頻繁に入る草地などは牧草などに使われる外来種で一杯です。

カモジグサ、スイバ、クサイ、他、明るい林にはオオバノトンボソウ、やオカトラノオ、コウゾリナ、など、林縁にはヤマタツナミソウがつつましく咲いています。コブナの流れの水辺にはセンダン、見落としがちなキブシの実、足元のキッコウハグマ、１つ１つ見ているとそこだけが時間が止まるようです。本当に植物大好き人を沢山作りたいです。普段見ているのにまだ見ていない奥の深い観察の森の里山という生態系を大切にしていきたい。

次回はまた外の里山に目を向けてゆきましょう。

・次回観察隊は７月８日（第２土）観察の森駐車場集合、
　８：３０～１２：３０、岡見地区。水など忘れずに。
・ ホタル調査もおこなっております。スタッフとして参加してみませんか。
　０２９－８７３－６５６２高野。

オッタチカタバミ

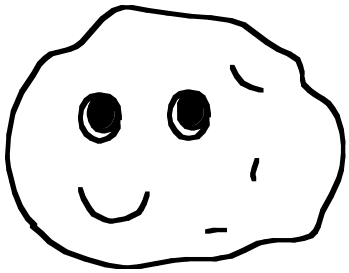
観察隊の様子

ハナイカダ

# じゃがいもプロジェクトより

今年のじゃがいもの育ちはいま一つです。これから１ヶ月の成に望みをかけています。

今年の収穫と収穫祭は、牛久子育てネットワーク紡ぎの輪と協力して行います。子どもたちの食の偏りや、野菜嫌いに悩むお母さんも多いのです。小学校に入る前の子どもたちと無農薬のじゃがいもを収穫し、その場で様々に調理して味わってもらう、これ以上の味はありません。今からその様子が目にうかびます。



次の活動：７月８日（土）９時より（雨天の時は７月１５日（土））

# 夏の野外活動、こんな事に気をつけて！

夏は野外活動が活発になり、それだけ危険に遭う確率も増えます。学校が夏休みに入ると、子ども達と一緒に活動を行う機会もあります。**活動の前にどんな危険が考えられるか、予防対策はとっているか、チェックしておきましょう。**

暑い時期は肌を出したくなりますが、**野外活動はやはり長袖長ズボンが基本！**これを励行するだけで､虫の害やちょっとした怪我はかなり防ぐことができますよ。

## ◎虫による害

**☆スズメバチ…６月頃から働きバチが増えはじめ、危険性が高くなります。刺傷事故は８、９月がピーク。巣に近づくとハチが寄ってきて、しつこくつきまとったり、あごをカチカチ鳴らしたりといった威嚇行動をとります。手で振り払ったりせず、静かに飛び去るのを待つか、ゆっくりその場を離れましょう。また、飛び交うハチの数が増えるのは巣が近い証拠。木の洞や道ばたの穴をむやみに木の枝でつついたりするのは危険です。**

**→予防対策**　長袖、長ズボンを着用。帽子や服は明るい色のものを（ハチは黒いものに向かう習性がある)。化粧品や香水の使用は避ける。過去にハチに刺されて重い症状になったことのある人は、あらかじめメンバーにその旨を伝えておく。※スズメバチの巣を発見したら、職員に通報してください。

**→刺されたら**　ポイズンリムーバー（右）などで毒を吸い出す。傷口を冷やす。抗ヒスタミン剤入りのステロイド軟膏を塗る。痛みがひどい場合は病院へ。じんましんや頭痛、腹痛など刺された箇所以外の全身的な症状が出た場合は、直ちに救急車を。直接の死因として最も多いのは気道のむくみによる窒息死なので、応急処置として気道の確保や人工呼吸が必要な場合もあり。

**☆毛虫…６～７月にかけて、毛虫が多く見られます。刺す毛虫は多くはないのですが、用心に越したことはありません。チャドクガはチャやツバキの木につき、ドクガはサクラやウメ、カキなど多くの広葉樹につきます。毒針毛に刺されると、激しいかゆみが２～３週間続きます。また、刺された直後には痛みはなく、あとから痛みや強いかゆみがでるのでやっかい。**

**→予防対策**　長袖、長ズボンを着用。首筋も手ぬぐいやタオルで覆った方がよい。毛虫には素手で触らない。体に付いたときにはガムテープなどで取り除く。

**→刺されたら**　絶対に掻いたりこすったりしない。ドクガに刺されたことが分かったらその場所にセロハンテープを貼って毒針毛を取り、流水で洗い流す。抗ヒスタミン剤入りのステロイド軟膏を塗る。

## ◎熱中症（日射病・熱射病）

炎天下や高温多湿の環境で発症します。初期症状は多量の発汗、めまいや吐き気、頭痛など。日射病と熱射病では症状が異なりますが、いずれも長時間の運動を避け、水分補給をこまめにすることが大切です。

**→予防対策**　日差しの強い時間帯の活動を避ける。長時間の運動をしない。水分補給をこまめにする。帽子をかぶる。

**→症状が出たら**　水分補給を行う。風通しの良い日陰に移動して横にする。発汗が止まる、意識がなくなるなど症状が重い場合は救急車を。

## ◎落雷による事故

**夏は雷が発生しやすい季節。観察の森は避難場所が少ないので要注意です。雷の電気は 10 キロくらいの距離は貫通して、落雷を引き起こします。また、雨の降り出す前の雷は荷電量が大きくて危険。**

遠くで雷が聞こえたら、上空に雲がなくても「自分に落ちる可能性がある」と思って間違いありません。早めに活動の中止や避難の判断を下しましょう。

## ◎風雨による事故

**強い風はそれ自体、活動の妨げになりますが、枝の落下でケガをしたり砂塵で目が傷ついたりといった事故の原因にもなります。川のそばの活動では豪雨による鉄砲水にも注意。衣服が濡れると体温が奪われ体調を崩すもととなります。雨が降り始めたら早めに雨具を着ましょう。**

※観察の森には軟膏や絆創膏などファーストエイドキットの用意はありますが、飲み薬を出すことはできません。症状が重い場合は、病院で医師の処方を受けてください。

## 運営委員会議事録 2006/6/19 ※詳しい議事録はネイチャーセンターにて閲覧可能です

〈議席数 18 名のうち 11 名出席。1/2 以上の出席。　本会は成立〉

① 森林総合研究所・森の展示ルーム（受託事業）森林のお知らせ

森林総合研究所・森の展示ルーム解説員について正式に要請がありました。今年で３年目になる毎年恒例の事業です。理事会で承認され、運営会議でも説明がありました。詳細は記事をご覧ください。

② 新しいありんこグッズが加わります！

うしく里山の会へ協賛金をお寄せ頂いた方へのお礼に差し上げるありんこグッズに 5/21、6/18 の運営会議で新しい製品が承認されました。１つは定番として皆さんに大人気の「布製ふくろうバッチ」の兄弟で「布のフクロウのマスコット」です。転んでも起き上がるよう重りが入っています。もう１つは、「ドングリで作ったねずみのバッチ」で、森に住んでいるアカネズミがモデルです。みなさんの前にお目見えするのはまだちょっと先ですがお楽しみに！

③ 小野川探検隊連絡会議からスタッフ募集のお知らせ

小野川探検隊連絡会議とは茨城県主催の会議体で、霞ヶ浦に流れ込む河川をこども達の手によって水質浄化を進めようというものです。今年度の第一回体験学習は７月２２日豊年橋付近で魚捕り体験と観察の森で夏の自然観察が行われます。特に森の体験学習は、昆虫や野鳥、更には木の葉や木の実の香りや味を体験しようという試みです。当日は指導するスタッフが不足しておりますので、会員の皆さんの中から、上記趣旨にご理解のある方、昆虫。野鳥、植物などをこども達に指導してみたい方、スタッフを募集します。詳細は記事をご覧ください。

# 7月の里山カレンダー

※活動日は都合により変更になる場合がありますので，ホームページ等でご確認ください。

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | 1 |
| 2<br>○巨木古木ﾘｻｰﾁ<br>8:30森Ｐ | 3 （休園日）<br>○アヤメ園（受）<br>9:00アヤメ園Ｐ | 4 | 5<br>○雑木林畑隊<br>9:30畑 | 6<br>○アヤメ園（受）<br>9:00アヤメ園Ｐ | 7<br>○雑木林畑隊<br>9:30観察舎畑 | 8<br>○里山観察隊<br>8:30森Ｐ<br>○じゃがいも<br>9:30畑<br>（会報等原稿〆切） |
| 9<br>○里山聞き取り<br>9:30NC<br>○雑木林応援隊<br>9:00ムジナの里 | 10 （休園日）<br>○アヤメ園（受）<br>9:00アヤメ園Ｐ | 11 | 12<br>○雑木林畑隊<br>9:30畑 | 13<br>○アヤメ園（受）<br>9:00アヤメ園Ｐ | 14<br>○雑木林畑隊<br>9:30観察舎畑<br>○ありんこクラブ<br>12:00NC | 15 |
| 16<br>○運営委員会<br>9:00NC<br>○広報委員会<br>11:00NC | 17<br>○アヤメ園（受）<br>9:00アヤメ園Ｐ | 18 （休園日） | 19 （休園日）<br>○雑木林畑隊<br>9:30畑 | 20<br>○アヤメ園（受）<br>9:00アヤメ園Ｐ | 21<br>○雑木林畑隊<br>9:30観察舎畑 | 22<br>○巨木古木ﾘｻｰﾁ<br>8:30森Ｐ |
| 23<br>○雑木林応援隊<br>9:00NC | 24 （休園日）<br>○アヤメ園（受）<br>9:00アヤメ園Ｐ | 25 | 26<br>○雑木林畑隊<br>9:30畑 | 27 | 28<br>○雑木林畑隊<br>9:30観察舎畑 | 29<br>○アヤメ園（受）<br>9:00アヤメ園Ｐ |
| 30 | 31 （休園日）<br>○アヤメ園（受）<br>9:00アヤメ園Ｐ | | | | | |

森：観察の森，　NC：観察の森ネイチャーセンター，　（受）：受託事業，　Ｐ：駐車場，　（休園日）：観察の森休園日

**会報「さとやま」は**
**新しく生まれ変わります！**

今年の春，本会は牛久自然観察の森の指定管理者として新たなスタートをきりました。会報におきましても，この夏（７月号）から，会の様々な活動を多くのみなさんに「楽しく，わかりやすく，そして読みやすく」お伝えすべく生まれ変わります。ご意見，ご要望などありましたらお気軽にお聞かせください。

## 会報原稿募集中！

会報「さとやま」の原稿を募集しています。各プロジェクトや特別事業からの報告、「さとやま」にふさわしい情報などをお送りください。

原稿は４００字詰め原稿用紙２枚（Ａ５）、または４枚（Ａ４）の分量でお願いします。テキスト（手書き可）をメール、または郵送でお送りください。写真がある場合はプリントまたは画像ファイルもお送りください。（写真を含む記事はそのぶん文字数を減らしてください。）記事送り先は下記です！

**牛久自然観察の森　久保庭敦男**
**メール　skyranger-mori@u-satoyama.jp**
**300-1212**
**牛久市結束町 489-1 牛久自然観察の森**

**会報さとやま　２００６年７月号（発行・ＮＰＯ法人うしく里山の会）**
事務局　300-1236 茨城県牛久市田宮町８０８－２０　　電話０２９－８０１－２５００（代表　坂弘毅）